

### 創刊のご挨拶

### コラム

[レストアもまた楽し](#)

### 実機Photo特集

[ニューヨーク航空博物館の60年代JET 実機写真  
Vol.1 F8E クルセーダー](#)

[ニューヨーク航空博物館のM-60戦車 実車写真](#)

### 連載

[Big キット 作り直し  
\(第1回\) Fw-190D ハセガワ 1/32](#)

[48JETS0選 No.1  
ミランジュ E \(イタレリ\)](#)

[米海軍現用機シリーズNo.1  
F-8 クルセーダー \(アカデミー 1/72\)](#)

[モーターライズ・プラモデル \(第1回\)  
プラモデル戦車は動いてこそ戦車](#)

### ニューキット・レビュー

[E-2C ホークアイ \(ハセガワ 1/72\)](#)

### Information

[新発売情報](#)

[プラモクラブ展示会情報](#)

### Reader's Club

### 広告

[全国モデラーズクラブ リンク](#)



**サンプル版  
各記事の1ページ分のみ  
収録しています。**

日本で初めての スケールモデラーのためのプラモデルwebマガジン「webモデラーズ」は 毎月1日発行  
プラモデルの楽しみ方、スケール模型の作り方 塗装のノウハウ等を 写真付き解説記事で掲載しています。

2009年2月号 目次
創刊のご挨拶
今月のグラフィック
コラム
リストアもまた 楽し
特集
ニューヨーク航空博物館の60年代 JET 実機写真 Vol.1 F8E クルセーダー
ニューヨーク航空博物館のM-60戦車 実車写真
連載
Big キット 作り直し(第1回) Fw-190D ハセガワ 1/32
48JET50選 No.1 ミラージュ E (イタリ)
米海軍現用機シリーズNo.1 F-8 クルセーダー (アカデミー 1/72)
モーターライズプラモデル (第1回) プラモデル戦車は動いてこそ戦車
ニューキット・レビュー
E-2C ホークアイ (ハセガワ 1/72)
Information
新発売情報
プラモデル展示会情報
Reader's Club
広告
今月号コンテンツリスト
全国モデラーズクラブリンク

## 月刊 web-modelers 創刊のご挨拶

スケールプラモデルのweb マガジン「web-modelers」を 創刊する運びとなり 発行人から ご挨拶申し上げます。

私事ではありますが、プラモデルの趣味を幼少の時から続けて50年、そばにはいつもプラモデルがあり、趣味の仲間も出来、人生を楽しむ豊かなものにしてくれました。

その感謝の気持ちを形にし、プラモデルの世界の楽しさを皆様にもお届けすべく、いつかは スケール モデルと 実機写真 を中心としたオーソドックスなプラモデル雑誌を発行してみたいという夢をもっておりました。

それが、昨今のインターネット技術の進歩で WEB マガジンの格好ならば、印刷経費もかからず 実行できるということがわかり、試行錯誤を重ねた結果、電子ジャーナルの形態でやっと本誌発刊の運びとなりました。

当初は編集とライターのパワーの限界があり、エアモデルとAFVを中心に誌面を組んで参りますが、順次、ライター陣の充実に合わせて CARモデル、艦船、SFキャラクターにと 広げて行きたいと考えております。

プラモデルの製作記事を書いてみたい、紙面で自分の作品を発表したいというモデラーが居られましたら、いつでも掲載させていただきます。ぜひ気楽にご応募をお願い申し上げます。

まだ、これだといったWEBマガジンのスタイルが定まったわけではなく、とりあえず、書店に並んでいるスケールモデル専門の先輩雑誌を模して 毎号の発行を重ねて行く中で、方向を修正して少しでも楽しいものにして行くつもりであります。

皆様にプラモデル製作の楽しさをお届けすべく 工作ヒントや参考になる実機の資料をちりばめて毎月発行して行きたいと思っております。ぜひ かわいがっていただきたくよろしくお願ひ申し上げます。

月刊 web-modelers 発行人 田口 博通

ご意見、ご感想、作品の写真、製作記事など [info@webmodelers.com](mailto:info@webmodelers.com) へ ! お待ちしております。

## 2009年 2月 Vol.1

## 今月の グラビア

コラム  
レストアもまた楽し



ニューキット・レビュー

E-2C ホークアイ (ハセガワ 1/72)



実機Photo特集1

ニューヨーク航空博物館の60年代JET 実機写真  
Vol.1 F8E クルセーダー



実機Photo特集2

ニューヨーク航空博物館のM-60戦車 実車写真



連載

Big キット 作り直し (第1回) Fw-190D ハセガワ 1/32



米海軍現用機シリーズ No.1

F-8 クルセーダー (アカデミー 1/72)



48JET50選 No.1  
ミラージュ E (イタレリ)



モーターライズ・プラモデル (第1回)  
プラモデル戦車は動いてこそ戦車



## コラム "レストアもまた 楽し"

下の写真は 現在製作中の1/70 フジミ A-1スカイレーダーである。現在、上塗りが終わってこれから主翼付け根のステップの黒帯を塗装し、アンテナをとりつけようという段階である。

なぜ ハセガワから 72決定版が出ているのに、今頃フジミなのだ というと 実は、これは一度 30年前に製作したものをレストアしているところなのだ。

作った当時は 右の写真のようにNAVYの蜂の一突きのマーキングを貼ったものだが、30年の経過はよる年波に勝てず、デカールはクリアで保護していたにもかかわらず黄ばみ、はがれ、プラの劣化で水平尾翼が折れ、修理が必要な状態となっていた。

それで、いっそと 塗装を落とし、ベトナム迷彩に化粧直しを始めたわけである。

塗装を落とす際に フジミの繊細なパネルラインを痛めたために、翼上面のみ、スジボリにしまった。折れた水平尾翼は、エナメルのスミイレでプラスチックがボロボロになっており、レストア途中で更に翼の中央で折れてしまったので、重ねて修理するはめにあいた。

主翼機銃は製作当時は資料がなく、シンチュウパイプで作ったが、これでは2次大戦機の機銃である。



(1983年当時の A-1H スカイレーダー)

スカイレーダーの写真を見ると本物は段つきになっているので、今回はきちんと作ってみようと思っている。この20年間の資料の充実は目を見張るものがある。

レストアをやってみると、ゼロから新キットで作る方が、簡だったかなと感ずることもあるが、30年前に作ったものが、新しい塗装で甦ってゆくを見るのはなんともいえない楽しさがある。



# 実機資料写真集 F-8C/K クルセイダー

ニューヨーク航空博物館の F-8 クルセイダーの実機写真である。(撮影時期は2005年春 元画像解像度 1280\*960)

機体のSi No.145550

F8U-2/F-8Cとして完成し、後に 対地攻撃能力を加えたF-8Kに改造された87機の中の1機と思われる。  
胴体背部には膨らみがなく、ブルバック運用能力は省かれている。  
レドームは小型。ピトー管は機首左右についている。

左垂直尾翼に NAWCのマークが貼られている。  
ミサイルランチャーはついていない。

(写真1) ハドソン河の 空母甲板上に駐機しているF8Eクルセイダー



## M-60 戦車

第1回目は M-60 の実車写真である。(撮影時期は2005年春 元画像解像度 1280\*960)

解像度 800\*600



(Photo 1) ハドソン河の 博物館入り口に展示されている M - 60 の側面写真

## Big キット作り倒し (第1回) Fw190D-9 ハセガワ 1/32

### 実機について

フォッケウルフFw190D-9は中高度戦闘機であったFw-190Aシリーズの空冷エンジンから液冷ユモ213A-1エンジンに換装し、高高度性能を向上した戦闘機です。これにより、高度6000m以上でもP-51ムスタングに対抗できるようになりました。

D-9の初期量産300機はF,Gシリーズと同じフラットなキャノピーを装備、後期型はガーランドハウベと呼ばれる膨らみを増したキャノピーを装備しています。最後期型は木製の大型垂直尾翼のものになっています。

### キットの印象

第1回で取り上げるのはハセガワ1/32 Fw-190D9です。

1/32を簡単に組めるコンセプトで設計されたキットだけあって、パーツ点数が少なく、表面はリベットもなく、凹パネルラインだけのあっさりキットです。部品の合いは良く1/32といえども、1週間でストレスなく組むこともできるでしょう。

今回リベットを全面に打ち込みましたが、それでも2週間で完成しました。まさに新時代の楽キャラ32キットです。

昔のビッグキットや最近のトラペ32はエンジンが内蔵されているのが定番で、それも楽しみの一つでしたが、このキットはシンプルで、液冷エンジンJumo213は内蔵されていません。

しかし、エンジン補機部が再現されていて、主脚収容部裏側からのぞきこめるようになっています。マニアばいというか、ある意味ヘン??的ではありますが・・。

キャノピーはフラットなタイプとガーランドハウベの両方が入っていて、塗装により選択可能となっています。

付属マーキングは作例では地味なものを選びましたが、別売りデカールがイーグルカルなどから発売されています。

32をずらっとならべて派手に楽しみたいというのは、以前では見果てぬ夢でしたが、このような楽なキットが発売されるとそれも夢ではなくなります。それでは製作に入ってゆきましょう。



## ミラージュ E (イタレリ 1/48)

このコーナーは ジェット機の 1/48モデルの中から、50機を選んで、製作記事を連載しようという企画である。

48では世の中にはこれしか発売されていないという機種もあり 玉石混合。出来のよいキットだけでなく、苦勞を買う? キットまで幅広く取り上げてしまう

で 第一回は フランスのミラージュ E 。  
1/48では 数年前イタレリから発売されているのみ。  
Cであれば、古くは フジヨから1/50ので C,  
Rのコンバーチブルキットが発売されており、エレールからも C/Bが発売されている。

また、近年エディキュアルトから素晴らしい Cのキットが発売された。また昨年、ホビーボスから中国製にかかわらず何故かお高いが、Cが発売された。

その中で 48ミラージュ Eは人気薄いのか、長年、穴が続いていたということである。イタレリのEは 数年前に発売されたが、実は金型は古い設計の様子。一説には旧エッシーではないかという説も、決して悪いキットではなく 作例はほぼストレートに組んでいるが、スタイルも破綻がなく、完成すれば 納得の出来となる。デカールも新しい抜群の印刷のものが付属している。さすがイタリア製デカール。模型屋の店頭に時々 並んでいるので、見つければ ぜひGETをお勧めしたい。

写真 1) グレーとグリーンの2色迷彩がなんともいえずフランスのしゃれを感じさせる

塗装は ダークグリーンは グンゼ特色309 (FS34079)、ダークシーグレイは 特色305 (FS36118) を使っている。



## F-8E クルセーダー (アカデミー 1/72)

wrighten by 厚木のすけさん



近年、ディテール、スタイルとも格段の飛躍を遂げた韓国アカデミーから数年前に満を持して(ってことはないか)発売されたクルセーダーであります。最初はE型が発売され、後から、前縁スラットをダブルにしたJ型がバリエーション展開で発売されております。

アカデミー 72シリーズは、数年前に 安いと思って F104Jスターファーターを買ったことがございますが、そちらは企業勃興期の商品でございましたねえ。それがあなた 買ったが百年目、開けてびっくり玉手箱、にわかに白い煙が立ち煙、そのスターファーター様は隣国の竜宮城からタイムスリップして帰ってきたように白髪姿の旧版長谷川さんと瓜二つ。竜宮城のお姫様に 見事いっぱい食われました。

ご存知の方も居られようが、この旧版そっくりさんは偏平キャノピー、背中まで見える伽藍伽藍の脚収容部と大変なキットでございました。

おーい角さん、どうするんだい。あー ご老公に聞いてみようってわけで、相談に行きますと それはデスクトップモデルっていうのに化けさしゃーいいんだよって おっしゃりました。

それで、幅広のどうしようもないキャノピーは裏にパテをつめこみ、削り倒し、黒で塗りソリッドキャノピーと化し、デスクトップモデルに変身しようと奮戦は致しましたが、刃は折れ、弾薬は底をつき、ついに栄光の姿を見ることなく、現在はデブスモンサンの床下で部品とりキットとなり果てております。

と以前のアカデミー 72シリーズには著作権無法時代の黒雲の印象がただよっておりました。

で、このクルセーダーは？ てーと 違いました。

いい意味で期待を裏切ってくれて、その精密さは現代の設計でありました。凹彫りの繊細なパネルラインとその構成は まるで、ハセガワ1/48のスケールダウンのような雰囲気醸し出し、韓国アカデミーの進歩 恐るべしであります。

さすが、三星、金星の電子立国であります。

技術の進歩は日進月歩。地獄のさたも金次第。いい金型工作機械と3次元CAD/CAMを手に入れて適正な投資をすれば、昨日の後進メーカーは明日の先進メーカーとして、はるかかなたの浄土の先に行っている下克上の世界でございますねえ。

日本の大手メーカーさんも、キムチパワーにはかないません。なんていわないで にんにくでも買って元気出してがんばってくださいよ。何を作っても今ひとつ売れないとすれば、先に短期の儲けを考えすぎるからでございますよ。そういうのをカネツキメーカーというのでございます。たまには「カネ」をつかなくて、モデラーの「心」をどつきましょ。チャンチャン。

# モーターライズ・プラモデル (第1回) プラモデル戦車は動いてこそ戦車

by タンクダンク

障害物 を楽々と乗り越える ロンメル の勇姿 (リモコン 1/35 ヤクトパンサー



世の中には、シングルでもリモコンでもラジコンでも、動く戦車模型を見ると心がときめいてしまう」という人が、少なからずいると思う。

かくい私もその一人。キャタピラをがたがたと動かして、障害物乗り越え動く姿がメカニックでたまらない。細かいディテールがなくても、形が少々おかしくてもいいのだ。

周囲からはどうも異端のようなのだが、プラモデルの戦車というと、実は私は「モーターで動かないと戦車」という感じがしない。

それは幼少のころ、戦車と言えばモーターで動くものと強く刷り込まれたからに違いない。たたみの上を座布団を乗り越えて、消しゴムの障害物やセルロイドの下敷き板の坂もなんのその。キャタピラで乗り越えてどんどん進む。転輪が段差に合わせて上下動作する。映画で見たシーンとそっくりの体験が目の前に広がる。それが戦車。

告白すると、AFVには興味はあるのだが、そう詳しくはない。ミリタリーミニチュアシリーズは先日数えてみると、30あまり作ったが、どれもほとんどストレートのままで作っている。MMで新製品が発売されたと聞いても、あまりそそられない。

ところが、ラジコンバージョンが出ると聞けば、一度は模型屋で箱を確認したくなる。ただ、1/35で1万円前後の価格となれば、ためいきをつき、結局は箱を戻すのだが。

幼少のころに脳に刷り込まれた固定観念とは恐ろしいもので、ミリタリーミニチュアシリーズは正確な模型だと目ではわかっているが、歳をとるとともに心の中では動かないので戦車という感じがしなくなっているようなのだ。これは、脳の回路が古い層の記憶につながってきているのか、最近はやりの脳科学者に聞いてみたいものだ。

子供時代は1960年代。正月にお年玉をもらい、すぐ小学校校門横の文具屋の欲しかったリモコン戦車の箱の前に行く。当時は文具屋が模型屋を兼ねていたのだ。毎日登下校にその店のショーウィンドーでプラモデルを見て育ったのだから、欲しくなるのは当然である。

しかし、ショーウィンドーの前であれこれと眺めてもなかなか決められず、最初買ったリモコンの戦車は、イマイのノンスケールのM4シャーマンだった。しかし、小5の自分にはうまく動くようには組み立てられず、リモコンボックスの配線は店のおっちゃんに助けてもらった。

60年代後半にタミヤから1/25リモコンシリーズが発売された。中でも、パンサーは転輪にネジリばね方式のスプリングが利き、本物そっくり上下動作するようになっていた。また、チーフテンは組み立てキャタピラの接地面にゴム板を一個一個貼るようになっており、坂になると高速から低速へ自動で切り替えが出来るすごいものだった。欲しくてたまらなかったが、2千円を越すキットは財布と相談すると買えるはずもなく、年月が過ぎ去った。

## ニューキット・レビュー E-2C ホークアイ (ハセガワ 1/72)

ニューキットレビューのコーナーは WEB マガジンの即時性を生かし、市販品の購入後、どの雑誌よりも、もっとも早い新製品レビュー報告の実現を目指しています。

### 実機について

E-2Cホークアイ 空中早期警戒機(AEW)は、1960年10月21日に初飛行した。

特徴的な回転式大型レーダーを装備し、高空から広範囲の敵影を探知し、友軍戦闘機の誘導管制を行うのが任務である。

最初のAEWは S-2トラックを改造したE-1トレーサーであり、E-2Cは機体、システムとも第2世代に当たる。共にグラマン社の設計で、E-2Cはターボプロップ化し、4枚尾翼となった。機首キャノピーなど、どことなくトラックの面影を感じさせる。

ホークアイは電子技術と信号処理技術の発展と工による装置の小型化、デジタル化と共に、E-2はA型からB型へ、更にはC型へと飛躍的に向上を図っている。

最新のC型は目標探知能力を大幅に向上した AN/APQ-145レーダーを装備している。

自衛隊は E-2Cを13機導入し、三沢基地に全て配属している。

厚木で公開された USN E-2C NF602



E-2C ホークアイ 航空自衛隊 第601飛行隊 三沢基地所属 (ハセガワ 1/72)



## 月刊webマガジン 『webモデラーズ』 2009年 2月 Vol.1 CONTENTS

コンテンツ リスト		ページ
? 創刊のご挨拶	発行人	1
? グラビア		2
? コラム		
レストアもまた楽し		3
? 実機Photo特集		
ニューヨーク航空博物館の60年代 JET 実機写真 Vol. 1 F8E クルセーダー		6
ニューヨーク航空博物館のM - 60戦車 実車写真		7
? 連載		
Big キット 作り直し (第1回) Fw-190D ハセガワ 1/32	田口 博通	8
48JET50選 No.1 ミラージュ E イタレリ	田口 博通	15
米海軍現用機シリーズ No.1 F-8 クルセーダー (アカデミー 1/72)	厚木のすけさん	19
モーターライズ・プラモデル (第1回) プラモデル戦車は動いてこそ戦車	タンクダンク	20
? ニューキットレビュー		
E - 2C ホークアイ (ハセガワ 1/72)	田口 博通	21
? Information		
新発売情報		
プラモクラブ展示会情報		28
? Reader's Club		29
? 広告		30
? 今月号 コンテンツ リスト / 後付		31
<b>全国モデラーズクラブ リンク</b>		<b>32</b>

### 編集後記

WEBマガジンとはいえ、雑誌を編集するのは初めての体験でしたが、なんとか創刊号を正式にUPができました。日曜日の午前中に E - 2Cのアンテナをとりつけてやっと完成となり、しばし眺めた後、いそいで写真をと

り、製作記事にとりまとめたのが、夕方、2月1日は ばだばだ騒ぎとなりました。この半月間はナイフと筆をパソコンのキーに持ち替えて、パイロット版を1月中旬から作り出し、ページとリンク

構成なども 初めての経験ゆえ迷うことばかりでした。これから数ヶ月かけて、調整して行くことと思います。励ましをいただいた 横浜ひやめし会 の皆様に感謝いたします。

連載テーマの企画はいくつかあるのですが、模型店の棚の上でいつも箱を見慣れている国産キットで、(そ

ういえば完成品を見たことない、日本で完成した人は何人いるんだろう?)という 幻の完成キットの連載などもいずれやってみたいと思っています。

もし、連載で自分でこんなものやってみたいというモデラーがあられましたら、思いついたら吉日ですよ。その製作記事や、「私の傑作の写真」などを 気楽に送っていただければありがたいです。WEBマガジンはページの増減は自在に融通が利きますので、いくらでも掲載させていただきます。飛行機、AFV、CAR、艦船、SFモノなんでもOKです。

次号3月号は3月 1日発行です。編集中のパイロット版をTOPページからリンクして読めるようにしておきますので、時々ぞいてみていただいて ご意見いただければ幸いです。

webモデラーズ 発行人 田口 博通

月刊webマガジン 『webモデラーズ』 2009年 2月 Vol.1

発行日： 2009年 2月1日

発行人： 田口 博通

発行所： office 『Webモデラーズ』

住所： 神奈川県湘南

連絡先： [info@webmodelers.com](mailto:info@webmodelers.com) 編集部

広告掲載に関するお問い合わせは：[ad@webmodelers.com](mailto:ad@webmodelers.com) 広告担当まで

URL：<http://www.webmodelers.com>

ご意見、ご感想、作品の写真、製作記事など [info@webmodelers.com](mailto:info@webmodelers.com) へ お送りください。お待ちしております。

スケールモデラーのためのプラモデルwebマガジン 『webモデラーズ』は 毎月 1日発行

プラモデルの楽しみ方、スケール模型の作り方 塗装のノウハウ等を 写真付き解説記事で掲載しています。